

## 挨拶

# 謝 辞

被表彰者代表

神 原 貞 昭



ただいま表彰を受けました弁理士の神原でございます。一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

このたびは、日本知的財産協会の定例総会という晴れがましい場におきまして、研修功労者表彰を賜り、身に余ることと大変感激をいたしておりますとともに、なお一層身を引き締めて今後を考えていかなければならないと思っております。これも偏に、日本知的財産協会の研修関係者の皆様のご指導ご鞭撻の賜物と、心より感謝をいたしております。どうもありがとうございました。

多少私事になりますけれども、自分も日本知的財産協会の会員であります企業に所属しておりました時期がございます。そんなわけで、皆様とのご縁も浅からぬものがありまして、感慨ひとしおというところでございます。私が研修に携わり始めさせていただきしたのは、ほぼ10年前でございまして、例の米国で起こりました9.11事件より1年余り前であったと記憶しております。その後、毎年、1回3時間の講義を7回もしくは9回持たせていただいております。

こうしたなかで、毎年感じますことは、研修に参加される皆様が、年間を通じて、大変熱心に取り組んでおられるということでございまして、非常にありがたいことと思っております。毎回、参加された皆様からのご質問をいただいておりますが、それらのご質問には、大変によく勉強された上での極めて鋭いものも多くございまして、感心をいたしますとともに、私のほうも、ご質問を通じていろいろと学ばせていただいております。そういった意味で、研修においでになる皆様にも大変感謝をいたしております。

ちょっと話題が変わりますが、現在、内閣に設置されております知的財産戦略本部が検討しております、知的財産推進計画2010が、もうそろそろ出てまいります。その中にも記載されておりますことですけれども、これからの企業の事業活動と知的財産権との関わりは、従前以上にその重要度を増し、さらに、いろいろと複雑な様相を呈してくるというように思われます。

このような中で、日本知的財産協会の研修事業は、その役割がますます重くなり、大きくなっていくことであろうと信じております。今後とも、引き続きこの研修に携わらせていただきますように、一層の努力と精進とを怠らないつもりでおりますので、何卒よろしくお願いいたします。

簡単で大変申しわけありませんが、以上をもちまして表彰を受けました者の謝辞とさせていただきます。どうもありがとうございました。